

日本学会会議 総合工学委員会・機械工学委員会合同
工学システムに関する安全・安心・リスク検討分科会
工学システムに対する安心感等検討小委員会（第25期・第6回）会議議事録

2022年4月1日

日時：2022年4月1日（金）13時30分～15時30分

会場：遠隔会議（主催会場：東京大学 辻教授室）

出席者：大倉典子、蒲池みゆき、庄司裕子、須田義大、辻佳子、野口和彦、萩原一郎、松岡猛

宮崎久美子、向殿政男、矢川元基、小山慎一、長沢伸也、柳澤秀吉、山中敏正

記録：小山慎一

配付資料：	資料1-1	前回議事要旨
	資料1-2	前回議事メモ
	資料2	安全工学シンポジウムOS実施案

1. 前回議事録（要旨と議事メモ）の確認

前回議事録（資料1-1、1-2）を確認し、承認された。

2. 安全工学シンポジウムのオーガナイズドセッション（OS）について

大倉委員長より資料2に基づいて説明があった。今年度のテーマは「気候変動と安心感」で、オーガナイズと座長は大倉委員長、辻副委員長が担当する。「カーボンニュートラル施策による社会の変化と人々の安心感（辻副委員長）」「原子力発電関連活動と安心感（松岡委員）」「環境対応住宅居住者の暮らしやすさ評価（大倉委員長）」「安心感モデルの気候変動への適用（庄司委員）」の4件の講演および総合討論を行う。

3. 「見解」のまとめ方について

2の安全工学シンポジウムOSと関連し、見解のまとめ方について委員間で議論を行った。

4. 「学術フォーラム」またはシンポジウムの開催について

大倉委員長より、今年秋以降に実施することを目標に今後計画を立てる旨、説明があった。

5. その他

辻副委員長より、安全工学シンポジウムOSの日程は6月30日木曜9時半～11時半になる予定である旨、報告があった。次回は2か月後に開催予定。萩原委員が自動運転研究に関する話題提供を行う。

以上